

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社 アドテック  
 コード番号 6840 URL <http://www.adtec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 下津 弘享  
 (氏名) 五十嵐 英

上場取引所 東  
 TEL 03-3541-5080

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,094	△10.0	38	679.2	39	167.9	23	204.2
27年3月期第1四半期	1,216	199.8	4	—	14	—	7	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 22百万円 (193.7%) 27年3月期第1四半期 7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.57	—
27年3月期第1四半期	0.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	2,218	1,021	46.0	113.80
27年3月期	2,290	998	43.6	111.32

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 1,021百万円 27年3月期 998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,700	△18.2	60	301.2	60	230.0	30	873.6	3.34
通期	3,700	△7.9	100	81.1	100	82.2	50	—	5.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	8,974,484 株	27年3月期	8,974,484 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,155 株	27年3月期	1,155 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,973,329 株	27年3月期1Q	8,448,184 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用状況の改善や賃上げなど、個人消費を中心に国内の景気は堅調に推移いたしました。しかし、ギリシャ情勢や中国の株安等により円安が定着し、輸入価格が上昇するなど、今後の景気の先行きはいまだに不透明であります。

当社グループは、主力製品であるメモリ製品の販売においては、前年同期はWindows XPパソコンの買い替え需要が継続していたため、売上高が大きく伸びたものの、今期はその後押しがなくなったこともあり、売上高としては減少いたしました。その一方で、本年1月に取得したバディネットが当初想定を上回る業績を上げており、利益の面では前年同期を上回る結果となりました。

こうした状況の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,094百万円(前年同期比10.0%減)、営業利益は38百万円(前年同期比679.2%増)、経常利益は39百万円(前年同期比167.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は23百万円(前年同期比204.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

当社グループは前連結会計年度の第3四半期までは「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の3つの報告セグメントでありましたが、前第4四半期連結会計期間において株式会社バディネットを買収したことに伴い、前連結会計年度第4四半期より「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」「通信コンサルティング事業」の4つの報告セグメントとしております。

#### ①メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業は、新規商材の取扱及び通信コンサルティング事業とのシナジー効果の発揮に努めたものの、PCの切替需要が一段落したことで売上は伸びず、当第1四半期連結累計期間の売上高は794百万円(前年同期比27.0%減)、営業損失は1百万円(前年同期は4百万円の営業利益)となりました。

#### ②ウェブソリューション事業

ウェブソリューション事業は、人員増のために採用活動を強化する一方で、引き続き既存顧客からの受託案件の開発に注力しており、その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7百万円(前年同期比16.8%増)、営業損失は4百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

#### ③コンテンツ事業

コンテンツ事業は、新たに池袋でカフェをオープンするための初期投資費用がかかったこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は100百万円(前年同期比17.6%減)、営業損失2百万円(前年同期は3百万円の営業利益)となりました。

#### ④通信コンサルティング事業

通信コンサルティング事業は、当第1四半期連結累計期間の売上高は192百万円、営業利益32百万円となりました。

なお、通信コンサルティング事業は前第4四半期連結会計期間に追加したため、前期比較はありません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,816百万円となり、前連結会計年度末1,889百万円と比べ73百万円減少いたしました。

主な増減要因は、現金及び預金の減少102百万円、受取手形及び売掛金の減少26百万円、商品及び製品の増加40百万円、及び原材料の増加12百万円であります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は402百万円となり、前連結会計年度末400百万円と比べ2百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、有形固定資産の増加7百万円、のれんの減少18百万円であります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は892百万円となり、前連結会計年度末943百万円と比べ51

百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、買掛金の減少7百万円、未払法人税等の減少29百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は305百万円となり、前連結会計年度末347百万円と比べ42百万円減少いたしました。

主な増減内訳は、長期借入金の減少42百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,021百万円となり、前連結会計年度末998百万円と比べ22百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加23百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	939,003	836,906
受取手形及び売掛金	631,450	604,671
商品及び製品	158,730	198,912
仕掛品	24,518	33,818
原材料	91,821	104,733
その他	47,931	40,848
貸倒引当金	△3,640	△3,648
流動資産合計	1,889,815	1,816,243
固定資産		
有形固定資産	11,195	19,135
無形固定資産		
のれん	336,808	318,213
その他	3,245	3,210
無形固定資産合計	340,053	321,423
投資その他の資産		
その他	112,326	124,446
貸倒引当金	△63,096	△62,500
投資その他の資産合計	49,230	61,946
固定資産合計	400,479	402,505
資産合計	2,290,295	2,218,749
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	304,722	297,265
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	165,608	165,554
未払法人税等	48,801	19,103
賞与引当金	8,873	2,267
返品調整引当金	9,439	8,621
その他	56,121	49,607
流動負債合計	943,566	892,420
固定負債		
長期借入金	310,346	268,208
退職給付に係る負債	18,634	19,481
資産除去債務	2,949	2,857
その他	15,817	14,537
固定負債合計	347,746	305,084
負債合計	1,291,313	1,197,505
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	433,443	433,443
利益剰余金	△135,116	△112,052
自己株式	△199	△199
株主資本合計	998,126	1,021,190
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	855	53
その他の包括利益累計額合計	855	53
純資産合計	998,982	1,021,244
負債純資産合計	2,290,295	2,218,749

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,216,898	1,094,883
売上原価	1,110,127	902,447
売上総利益	106,770	192,436
販売費及び一般管理費	101,840	154,018
営業利益	4,930	38,418
営業外収益		
受取利息	12	13
為替差益	6,404	275
受取出向料	2,220	888
債務勘定整理益	1,290	1,229
雑収入	540	230
営業外収益合計	10,468	2,637
営業外費用		
支払利息	644	1,564
雑損失	19	18
営業外費用合計	663	1,582
経常利益	14,735	39,473
特別利益		
貸倒引当金戻入額	35	596
特別利益合計	35	596
特別損失		
固定資産除却損	-	686
特別損失合計	-	686
税金等調整前四半期純利益	14,770	39,382
法人税、住民税及び事業税	8,299	14,489
法人税等調整額	△1,110	1,829
法人税等合計	7,189	16,318
四半期純利益	7,580	23,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,580	23,064

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	7,580	23,064
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△802
その他の包括利益合計	—	△802
四半期包括利益	7,580	22,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,580	22,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション 事業	コンテンツ 事業	通信コンサ ルティング 事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	1,088,350	6,331	122,216	—	1,216,898	—	1,216,898
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,088,350	6,331	122,216	—	1,216,898	—	1,216,898
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,121	△3,173	3,082	—	4,030	900	4,930

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額900千円には、セグメント間取引900千円が含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ製品 製造販売 事業	ウェブソリ ューション 事業	コンテンツ 事業	通信コンサ ルティング 事業	小計		
売上高							
外部顧客へ売上高	794,386	7,398	100,605	192,492	1,094,883	—	1,094,883
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	794,386	7,398	100,605	192,492	1,094,883	—	1,094,883
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△1,545	△4,157	△2,465	32,247	24,078	14,340	38,418

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額14,340千円には、経営指導料等のセグメント間取引14,340千円が含まれておりま  
す。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは前連結会計年度の第3四半期までは「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の3つの報告セグメントでありましたが、前第4四半期連結会計期間において株式会社バディネットを買収したことに伴い、前連結会計年度第4四半期より「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」「通信コンサルティング事業」の4つの報告セグメントとしております。